

【新潟】三福運輸（五月女奈緒美社長、新潟県新発田市）は道の駅の施設運営を手掛ける。本社近くにある国道7号沿いの「道の駅加治川」で、同市が行う説明会に参加して2021年6月、指定管理者に決まった。22年4月から5年間担当する。現在、リニューアル

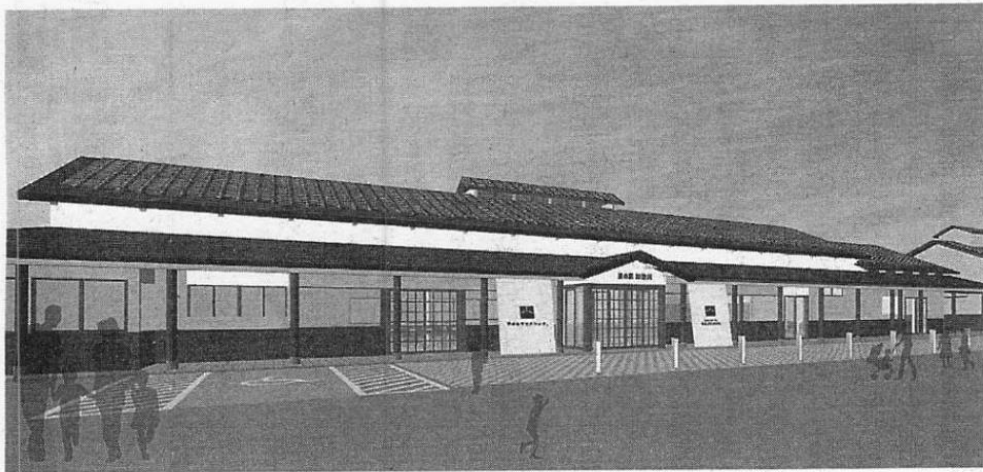
### 三福運輸

工事中で、4月下旬に再オープンする予定だ。

駐車するトラックの状況が会社構内からも分かる距離にあり、以前から五月女社長はより利用しやすい施設づくりを漠然と構想。市が管理者を民間に切り替える方針を示したため、そのタイミングで協力を申し出した。

# 「道の駅」施設運営

## 4月下旬 市、民間に切り替え 再オープン



明治時代から同地区で過ごす習慣があった。これは、花見や河川敷で余暇をを踏まえ、「加治川ピクニック」をコンセプトに、トイレは男女別だけでなく、多目的トイレ、ベビールームも用意。授乳やおむつ替えが安心してできる環境を整える。観光案内コーナーとともに、24時間利用が可能。

店舗には地元の農産物や物産の販売のほか、レストラン、パン工房も設ける。県内で複数の飲食店を営む企業とタイアップし、長距離ドライバーから家族連れまで、大勢の人が気軽に立ち寄れる施設を目指す（完成予想図）

隣接する国土交通省の管理スペースと合わせ、大型車10台、乗用車80台が駐車できる。

駅長となる五月女氏は「航空会社で接客に携わってきた経験を生かし、地域から愛される道の駅にしていくのが目標。ショップでは女性向けの商品をそろえる計画もある。ほかに、障がい者雇用にも努め、今回は見送られたが、シャワールームも設置できるように働き掛けたい」と話している。

（河野元）